

# 「京ことばで聞く

## — 『源氏物語』の世界 — 」

京都の国文学者・中井和子氏の翻訳「現代京ことば訳・源氏物語」（大修館書店）をテキストに、「女房語り」の語り手としてメディア等でご活躍されている山下智子氏をお招きする公演イベントです。「紅葉賀」・「初音」の場面を中心に、あらすじ解説や原文の紹介、そして古風な「京ことば」によって表現された『源氏物語』の世界をこの機会にぜひご鑑賞ください。詳細は以下のとおりです。館員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時 令和6年2月4日（日） 13時30分～15時  
語り手 山下 智子 氏（紫苑語り会）  
場所 林原美術館内ロビー  
参加費 800円（入館料別途・2割引）  
※お支払いは、当日払いとなります。  
定員 30名（要予約）  
※未就学のお子様の同伴はお断りいたします。



※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開催の延期もしくは中止する場合がございます。

### <お申込方法>

◎申込受付は**先着順**です。定員になり次第締め切らせていただきます。

参加ご希望の方は、**当館ホームページの当イベント案内掲載の「参加申込フォーム」よりお申込みください。**

**※尚、お申込み後【キャンセル】される場合は、ご連絡をお願いいたします。**

★林原美術館ホームページ <https://www.hayashibara-museumofart.jp>



### お申し込み期間

**1月13日（土）～ 2月3日（土）**

**※お申込み期間より前の日の参加申込はお受けできません。**

**休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）／展示替期間**

### <お問い合わせ先>

林原美術館 TEL (086) 223-1733



山下智子（やましたともこ）



京都市出身。仲代達矢主宰無名塾に入塾、俳優としての表現を学ぶ。  
三島由紀夫近代能楽集「道成寺」「熊野」、こまつ座講演はじめ  
舞台、TVにて活動した。

2003年より声の表現中心に活動。

国文学者 故中井和子氏に師事、  
「京ことば源氏物語」の女房語りを通し  
失われゆく美しい京ことば、やまとの心を後世に伝えるべく  
東京、京都、神戸、大阪での全五十四帖隔月連続公演をはじめ  
蘆山寺、石山寺、涉成園（東本願寺）、円覚寺、  
各地の劇場、美術館、サロンで語り会をひらく。  
2012年、ワルシャワ大学、パリ、ベルンで公演。  
2014年、フランス日本文化会館からの招聘を受け、文化会館、  
イナルコ大学（フランス国立東洋言語文化研究所）で公演。  
スイス日本国交150年記念行事でスイス/リヒテンシュタイン6都市で公演。

源氏物語の他に、文楽人形芝居での語り、朗読劇、  
詩とダンスのコラボレーション。映像番組のナレーション、電子辞書、  
大修館書店国文教科書CD、i pod ピクセラサウンドブック等での朗読。

NHK ラジオドラマに6年間のレギュラー出演と作品提供。  
古典の日推進委員会語り部派遣事業講師、NHK文化センター講師。

2011年京都国民文化祭特命大使。

2019年京都観光おもてなし大使に就任。

2021年CD【紅葉賀】をリリース。

## 言霊の国日本

京ことば源氏物語は、京都の国文学者 故中井和子先生が十五年の歳月をかけ、源氏物語全五十四帖を今から百年ほど前の京ことばに訳されたものです。（大修館書店より出版—全五巻）現代から見ると雲の上のような格調高い王朝絵巻ですが、京ことば源氏物語では一人の女房（高位の女官）の視点で宮中の出来事のあれこれが あたかも ここで話しているように語られ、生き生きとした平安の世の人間模様が浮かび上がります。

「ことば」はその土地の独特の気候風土が育んだ感性によって紡がれたものです。  
複雑で微妙に移ろいゆく京都の自然は、そこに住む人々の心にことばに襲ねられてゆきました。  
女房という立場から、配慮を見せつつおぼろげにことばをかさねてゆくことでだんだんと立体化する物語世界は直接的ではありませんが、気候風土のもたらす発想の息吹そのものが「音」となって響いては消えるその中に、源氏物語の底に静かに流れる もののあはれ をくみ取っていただけましたら幸せです。

女房語り 山下智子

公式サイト [www.genji-kyokotoba.jp](http://www.genji-kyokotoba.jp)

紫苑語り会 [siontomo@gmail.com](mailto:siontomo@gmail.com) 090-9823-8042